

※※ 県 税 に つ い て ※※

茨城県総務部税務課

1. まえがき

県税と統計は常に密接な関係にある。とくに新年度の「県税歳入予算額」を積算するにあたっては、できる限りの「統計」を参考にする必要があり、「統計」無くしては妥当な積算を行うことができない。

県税関係には、毎年度作成しているものに「茨城県税務統計書」があるので、この統計を中心に県税について記すことにする。

2. 県税の推移

地方公共団体の自治に対して、「三割自治」といわれ

て久しい。この三割自治ということが、その地方公共団体の歳入の中に占める道府県税、あるいは市町村税の割合に由来するものであるならば、本県も決して例外ではない。

次の表は、昭和46年度から昭和49年度までの本県の一般会計歳入予算額（当初）に占める県税の割合を示したものである。

(単位 百万円)

区 分	昭 和 46 年 度		4 7		4 8		4 9	
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)
県 税	37,595	26	37,595	26	50,292	27	65,964	31
地 方 交 付 税	24,878	17	24,878	17	30,312	16	31,634	15
国 庫 支 出 金	39,478	27	39,478	27	51,277	28	58,902	28

上記の表でもあきらかなように、県税の占める割合は年度ごとに上昇し、今年度は国庫支出金よりもその構成費も大きくなった。

このことは、本県の地域開発の進展に負うところが大きいと考えられる。

- ・ 総和地区工業地域
- ・ 神立地区工業地域
- ・ 鹿島地区工業地域
- ・ 県南地区住宅地域

の開発の進展は、県税収入に大きな効果を与えている。

この効果は、上記の各地域を所掌する各県税事務所の調定額の伸び率をみてみると明らかである。すなわち、総和地区工業地域を所掌する境県税事務所、神立地区工業地域を所掌する土浦県税事務所、鹿島地区工業地域を所掌する麻生県税事務所、そして県南地区住宅地域を所掌する江戸崎県税事務所の伸び率がとくに著しい。(次表参照)

(単位千 円, %)

県 税 事 務 所	昭 和 44 年 度		4 5		4 6		4 7	
	調 定 額	対 前 年 比	調 定 額	対 前 年 比	調 定 額	対 前 年 比	調 定 額	対 前 年 比
水 戸	6,806,090	133	8,511,151	125	10,086,813	119	11,877,489	118
常 陸 太 田	1,629,958	121	2,054,054	126	2,606,086	127	3,117,058	120
高 萩	6,317,225	125	7,734,548	122	7,028,958	91	8,683,155	124
麻 生	1,154,687	166	2,037,568	177	3,014,360	148	3,912,217	130
江 戸 崎	929,484	132	1,228,794	132	1,461,908	119	1,716,610	117
土 浦	3,041,850	134	4,140,587	136	4,921,726	119	6,337,303	129
下 館	1,971,640	125	2,581,355	131	3,286,612	127	4,112,022	125
境	1,580,828	139	2,134,218	135	2,378,786	112	2,698,710	113

この著しい伸びをみせているそれぞれの県税事務所についてみると、

(1) 麻生県税事務所

鹿島臨海工業地帯の開発の進展に伴い、各進出企業の社屋・工場などの建設が行なわれたこと。

また、開発が進むにつれ、社宅あるいは個人の住宅建設および土地の売買が多く行なわれたこと等のために、不動産取得税の伸びは他の県税事務所よりも特に大きくなった。

そして、各進出企業の生産設備等が増加するにつれて、本来市町村で課税する固定資産税が、鹿島町あるいは神栖町においては財政需要と財政収入の関係から「県で課税する固定資産税」が、昭和46年度以降課税されるようになった。

不動産取得税の調定額の対前年度伸び率
(単位 %)

年 度	麻生県税事務所	全 県 計
昭 和 4 4 年 度	2 6 1	1 6 2
4 5	1 8 3	1 7 7
4 6	1 6 1	1 2 7
4 7	1 2 7	1 1 7

(2) 江戸崎県税事務所

東京都内を通勤圏とする地域（特に竜ヶ崎市）には、マイホーム建設が激増して、不動産取得税の伸びが特に著しい。

(3) 土浦県税事務所

マイホーム建設の激増によって不動産取得税が著しく伸びていることは、江戸崎県税事務所と同じである。

また、神立地区工業団地の造成事業が、昭和45年度に完成したことによって、逐次進出企業の工場等の建設が続き、不動産取得税の伸びが目立ってきた。次いで各進出企業が操業を開始するにつれて、法人県民税・法人事業税の伸びが大きくなってきた。

法人県民事業税の調定額の対前年度伸び率
(単位 %)

年 度	土浦県税事務所	全 県 計
昭 和 4 4 年 度	1 4 3	1 3 3
4 5	1 5 7	1 3 2
4 6	1 1 4	9 9
4 7	1 3 2	1 2 1

(4) 境県税事務所

総和地区工業団地の造成事業が、昭和43年度に

完成したことによって、その前後から住宅建設あるいは工場等の建設が急増してきたことは、麻生県税事務所の場合と同じである。

また、工業団地の完成は法人県民税・法人事業税が増加することとなった。

3. 県税と地域開発

県内の地域開発が産業発展あるいは経済発展に貢献し、県税の伸びを支えている一つの要因になっていることは、上記の数値からもある程度に推測することができる。

産業あるいは経済の発展は、地域の単位面積あたりの生産高そして出荷高によって計ることができるが、税の立場からも、地域の単位面積あたりの税の変化をみることによって、産業・経済の変化をみることができる。

県 税 事 務 所	昭 和 4 3 年 度		4 7	
	県 税	指 数	県 税	指 数
水 戸	5,045	100	11,679	231
常 陸 太 田	1,091	100	2,518	231
高 萩	8,366	100	14,352	172
麻 生	927	100	5,209	562
江 戸 崎	1,343	100	3,276	244
土 浦	2,306	100	6,414	278
下 館	2,529	100	6,579	260
境	3,634	100	8,595	237

上記の表は、昭和43年度と昭和47年度の各県税事務所の調定税額を、それぞれの県税事務所の管内面積（単位平方キロメートル）で徐して得た調定税額を、指数で表わしたものである。

この表をみると、

(1) 麻生県税事務所管内（鹿島郡、行方郡）の指数の変化が特に大きいこと。

(2) 総体的に県北地域（水戸、常陸太田、高萩の各県税事務所管内）の指数の変化が小さいこと。

このことは、県南・県西及び鹿行地域の開発が急速に進んでいることを示している。

4. おわりに

ここに示した数字等は、「茨城県税務行政資料（その二）」、各年度の「茨城県税統計書」のものであるが、分析が不十分であるため、又税の面からのみ分析を試みたので的を得ていない部分もあることを、お断りしておく。

統計課アラカルト

労働統計係

陽光うららかに降りそそぐ5月、ここ茨城県警察本部5階の統計課の窓からも勝田市・那珂町・日立方面の野山は緑一色で「端午の節句」の鯉のぼりもあちこちに見られます。

昭和49年度の統計事業もスタートしてから1ヶ月を過ぎて順調な軌道に乗ってきて統計諸氏も張りきって新年度に取組んでいるのではないのでしょうか。今年は公共投資の縮少のあおりで予算も、のきなみカットされ、苦しい台所になりそうですが、それにも増して統計等査員手当の大巾引き上げなどうれしいニュースもあります。

さて、今月は、毎月勤労統計調査・茨城県小規模事業所給与等実態調査、労働力調査など、労働関係の重要な調査を一手に引き受けている労働統計係に統計課アラカルトに登場してもらいました。

労働統計係は総勢6名で全部男だけのやもめ世帯、統計課で女子職員のいない係はここだけ、総帥は眼光鋭く瘦軀はさながら「竹林の七賢」といった風情でかまえている稲葉鶴夫係長、古来より「賢者酒を尊ぶ。」のことでござりのおご仁、その酒量は一驚をもよおすほど、18番は「悲しい酒」とはうってつけ、反面、統計課野球部の監督もやっている戦前派。

毎月勤労統計調査を担当している打越幸道主幹、統計

課は15年のベテラン、書道は県展、芸術祭展等に10数回出品の経歴の持主で、さらに自然保護にも強い関心を持っており、野外植物の観察、研究に造詣が深い。

労働力特別調査を担当している武藤賢治主事、山方町から愛用のカラーラで通勤している。目下のところコンピュータのプログラマーとして多忙をきわめており、好きなこともあまりできないとこぼしている。彼氏、麻雀、パチンコはいうにおよばず、お酒飲み、魚釣り、園芸と他の人の3人分位の趣味を楽しむというホビーアニマルぶり。仕事が忙しいので、今のところ家へ帰っても今年2つになる愛娘と、テレビのチャンネル争奪戦が、仕事のつかれをいやす唯一のこととか、日々是好日、うらやましきかな。

茨城県小規模事業所給与等実態調査を担当している糸賀寿主事、水戸市元吉田町から毎日毎日、雨が降つても照つても統計課へ通つてくるスポーツ万能選手、今は当課野球部のエースとして活躍している、近々良縁を得て相性の素晴らしい女性とマイスイートホームの建設をするとか、独身最後の春を精一杯楽しんでいる様子。

毎月勤労統計調査を担当している小林公道主事、一見、色浅黒くたくましい感じ、さぞや若い女の子にモテるだろうと思うのは年老いた筆者のひがみか。野球・麻雀

・碁・将棋となんでもこなす、もちろん仕事の方もいうにはおよばずで悪いところなし？。

最後に登場する人物は同じく毎月勤労統計調査を担当している磯崎康栄主事補、仕事の鬼といった顔をして、いつも三つ揃えの背広をきて出勤してくるが、その行動半径は、県庁サーカーク部のフオワードとして、また前衛演劇などにも興味をもち、自ら演じている大根？役者、喫茶店でだべることを趣味と思いこんでいるご仁で、毎月安月給から喫茶店への支払いがサラリーの何分の1になることか、人ごとながら気になる位の足の運びよう。若さで取り組んでいるのは労働運動、県職員組合青年婦人部の常任委員としても頑張っている好青年。

以上6名が労働統計のいつわらざる横顔。



☆☆☆☆☆☆☆☆

短評 たんぴょう タンピョウ

☆☆☆☆☆☆☆☆

最近の新聞紙上で統計関係の記事が大変目立っている。とくに物価高を反映して総理府統計局発表の消費者物価指数・家計消費指数等が各紙で取り上げられている。統計というものはこのような時にしか一般の人々には関係のないような錯覚に落ち入りやすい。統計に従事している我々にとってはこのような形でも統計の重要さが認識されればよろこばしいことであるが、県内の物価調査だけでも約2,500万円もの大金をかけて行なっているので、もっともっと利用されてもよいのではないかという感はずまぬがれない。これは統計の作成者側の責任だけでなく利用者側にもその責任の一端はまぬがれないであろう。この点では、これからの統計というものが、より一層あらゆる要望に適切に対応してゆかなければならないということで、ますますきびしいものになってくる

ことは言をまたない。

現代の統計学は過去の分析のみならず、その一分野として推測統計学と云われるものが発達してきている。例に上げるならば、今年は七夕選挙といわれる参院選挙があると聞くが、候補者の当落の判定にこの推測統計学を応用して、より正確な当落予想ができるのである。このことは統計が物価などの限られたものだけにとどまらず、社会生活全般に亘って巾広く利用できる。云わば現代の「ヤヌスの剣」であることを如実に示している。有名なアメリカの「ギャラップ」また日本で有力新聞等の実施している世論調査はこの手法を最大限に応用したものである、使いようによっては時の施政者の活殺へもつながるような魔力を秘めたもの、それが統計であるといえよう。(大)

新 着 資 料 案 内

この新着資料案内は、3月中に行政資料室に到着した
ものうち主なものを掲載しましたが、このほかにも月

報・雑誌等数多くきておりますのでご利用下さい。

行 政 資 料 名	内 容 年	規 格		発 行 所 (者)
		判	頁	
中 央 官 公 庁 関 係				
昭和46年 全国物価統計調査報告 第6巻	46	B5	581	総 理 府 統 計 局
" 第7巻	"	"	235	"
昭和45年 国勢調査報告 第5巻 第1部	45	"	442	"
" 第2部	"	"	486	"
" 第3部	"	"	504	"
" 第4部	"	"	586	"
" 第5部	"	"	504	"
" 第6部	"	"	499	"
昭和47年 小売物価統計調査年報	47	"	540	"
家 計 調 査 報 告 (月)	48.11	"	67	"
日 本 統 計 月 報	48.12	"	128	"
小 売 物 価 統 計 調 査 報 告 (月)	"	"	36	"
勞 働 力 調 査 報 告 (月)	"	"	33	"
資 料 月 報	49.1	"	16	"
消 費 者 物 価 指 数 (月)	"	"	32	"
昭和47年 蘭生産費調査報告	47	"	85	農 林 省 統 計 情 報 部
昭和47年 東京郵政局統計年報	"	"	103	東 京 郵 政 局 管 理 課
織 維 統 計 月 報	48.12	"	68	通 産 省 調 査 統 計 部
雜 貨	"	"	32	"
機 械	"	"	115	"
機 械 器 具 流 通	"	"	18	"
化 学 工 業	"	"	82	"
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	"	"	32	"
ゴ ム 製 品	"	"	21	"
窯 業 ・ 建 材	"	"	41	"
百 貨 店 販 売	49.1	"	10	"
生 産 ・ 出 荷 ・ 在 庫	"	"	37	"
通 産 統 計 (月)	49.3	"	164	"
茨 城 県 関 係				
茨 城 の 工 業	47	B5	259	県 統 計 課
水 戸 市 消 費 者 物 価 指 数 の 概 況	48	"	19	"

行政資料名	内容年	規格		発行所(者)
		判	頁	
茨城の県有林	48	B5	16	県林政課
中学校生徒の卒業後の進路状況調査報告書	〃	〃	69	教育庁総務課
茨城の文化財	49	〃	54	〃文化課
肥料流通調査報告	47	〃	59	茨城県肥飼料検査所
茨城県畜産試験年報	〃	〃	143	〃畜産試験場
都道府県関係				
昭和45~46年度市町村民所得統計	45~46	B5	85	宮城県統計課
昭和47年度版宮城県の経済概況	47	A5	150	〃
昭和47年東京都統計年鑑	〃	B5	513	東京都統計局
昭和47年商業統計調査報告	〃	〃	265	〃
昭和48年学校教育統計調査報告	48	〃	129	〃
昭和48年版統計からみた神奈川県経済の動向	〃	〃	92	神奈川県統計調査課
昭和48年学校基本調査結果報告書	〃	〃	93	〃
県勢ダイジェスト(1974)	49	B6	120	〃
昭和47年神奈川県メッシュ統計報告	47	A4	364	〃
昭和47年農業基本調査の結果概要	〃	〃	245	千葉県統計課
昭和48年刊群馬県勢要覧	48	B6	151	群馬県
昭和47年埼玉県地域メッシュ統計	47		4枚	埼玉県
昭和47年長野県の県民所得	〃	B5	26	長野県
昭和49年刊統計資料目録	49	〃	53	愛知県
昭和48年富山県生活関連表	48	〃	128	富山県統計調査課
昭和45年三重県統計書	45	〃	308	三重県統計課
県勢要覧(1973)	48	B7	233	岐阜県
1973大阪府勢要覧	〃	B6	219	大阪府
昭和47年商業統計調査結果表	47	A4	650	〃
昭和48年メッシュでみた県土	48	B5	67	兵庫県
昭和47年工業統計調査結果報告書	47	〃	216	奈良県調査課
図書・統資料目録	48	〃	81	徳島県行政資料室
昭和48年版福岡県勢要覧	〃	B6	216	福岡県調査統計課
宮崎県勢要覧(1973)	〃	A4	194	宮崎県統計課
統計月報	49.2	B5	72	〃

統計ニュース

— 5月の行事予定 —

- | | | | |
|-----------|-----------------|-----------|-------------------|
| ○ 1日 | 学校基本調査日・商業統計調査日 | ○ 14日~15日 | 農業センサス第2回全国主管課長会議 |
| ○ 1日~2日 | 消費動向ブロック会議(神奈川) | ○ 15日~16日 | 北関東県民所得研究会(埼玉) |
| ○ 8日~10日 | 市町村統計主任会議 | ○ 16日~17日 | 統計情報交換会 |
| ○ 8日~10日 | 農産物流通調査市町村打合せ会 | ○ 20日~21日 | 商業動態ブロック会議 |
| ○ 14日~17日 | 市町村担当者事務打合せ会 | ○ 21日 | 消費動行調査員打合せ会(水戸) |